

インフルエンザワクチンの 接種を受けた方へ

接種日

1回目
 2回目

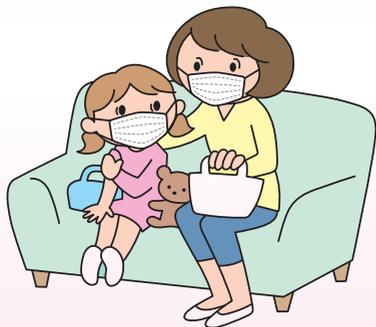
月

日

Lot No.シール

※本日接種したインフルエンザワクチンに含まれる4種類のワクチン株(A型・B型各2種類)については、武田薬品のホームページ「みんなのワクチンナビ」をご覧ください(裏面参照)

- ワクチンの接種を受けた後、15～30分程度は病院(接種会場)の施設内等で、背もたれのある椅子に座るなど、ゆったりとした気持ちでお待ちください。これは、ワクチン接種への緊張や痛みをきっかけに起こるかもしれない立ちくらみなどの血管迷走神経反射や、ショック・アナフィラキシーなどの重いアレルギー反応に、すぐに対応できるようにしておくためです。



お待ちいただいている間に、いつもと違う感覚があらわれたり、体調の変化や異常を感じた場合は、速やかに医師や看護師に声をかけてください。

なお、アレルギー反応や血管迷走神経反射は、接種後30分以上経過した後でも起こることがあるので、少なくとも接種した当日は、医師や看護師とすぐに連絡が取れるようにしておくことが大切です。

この他にも…………

- 接種部位は清潔に保ちましょう。
- 接種当日の入浴は可能ですが、接種当日を含め、接種後少なくとも数日は体調がすぐれないと感じた場合は、無理をせず、入浴を控えるのが良いでしょう。また、注射した部分を強くこすらないようにしてください。
- 接種当日の激しい運動や過度の飲酒は控えましょう。
- 高熱やけいれんなどの異常な症状があらわれた場合は、すみやかに医師の診察を受けてください。

インフルエンザワクチンの接種を受けたあとに あらわれるかもしれない副反応

比較的多くみられる副反応

※ 局所(接種した部位とその周辺)の副反応

発赤、腫れ、痛みなど

※接種を受けられた人の10～20%に起こりますが、通常2～3日で消失します。

※ 全身性の副反応

発熱、頭痛、寒気(悪寒)、だるさ(けんたい感)など

※接種を受けられた人の5～10%に起こりますが、通常2～3日で消失します。

また、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎、脳炎・脳症、けいれん、脊髄炎、ギラン・バレー症候群、視神経炎、血小板減少性紫斑病、血管炎、肝機能障害、ネフローゼ症候群、喘息発作、間質性肺炎、皮膚粘膜眼症候群、急性汎発性発疹性膿疱症なども副反応として報告されています。ただし、報告された副反応の原因がワクチン接種によるものかどうかは、必ずしも明らかではありません。インフルエンザワクチンの接種後に報告された副反応が疑われる症状などについては、順次評価を行い、公表しています。

厚生労働省、令和5年度インフルエンザQ&A(2024年3月31日時点)より作成

これらは、インフルエンザワクチンの接種によりあらわれる副反応のすべてではありません。

本ワクチンを接種した後、特に数日間は、ご自身の健康や体調の変化に注意し、ふだんと変わったことがあった場合は、医師に相談したり診察を受けてください。

インフルエンザとインフルエンザワクチンについて武田薬品のワクチン関連情報ポータルサイトでご確認ください



みんなの **ワクチンナビ**

インフルエンザワクチンについて
知っておいていただきたいこと



こちらからアクセス!

https://www.takeda.co.jp/patients/vaccine_portal/influenza/



2回目の接種をされる方は2回目の予約を忘れずに

2回目
予約日

月 日 ()

何時でも
 時 分

医療機関名

13歳未満: 2～4週間の間隔を置いて2回接種します。

13歳以上: 1回またはおおよそ1～4週間の間隔を置いて2回接種します。



武田薬品工業株式会社